



村上中等教育学校 5年生



村上桜ヶ丘高校 2年生

高校生と市長のふれあいトーク

— 若い世代と意見交換 —



荒川高校生

今年の「市長とのふれあいトーク」は、次世代を担う市内4校の高校生を対象に開催しました。

これは、高校生に自分たちが暮らす地域の課題やまちづくりなどに関心をもってもらい、高校生の発想や意見をうかがい、市政運営に生かすことを目的に行ったものです。

市長が「まちの未来はあなたが主役」と題して、市の概要や人口減少への取り組み、新たに創設した市独自の奨学金制度などを説明。その後には高校生との意見交換を行いました。

今号では、各学校の意見交換の様子をお知らせします。

なお、意見交換の詳しい内容などは、市ホームページをご覧ください。

● 問い合わせ 政策推進課企画政策室

☎ 53・2111 (内線533)



村上高校 2年生

村上桜ヶ丘高校

7月11日(火)



桜ヶ丘高校の2年生約160人を対象に、教育情報センターの視聴覚ホールで行いました。積極的に手を上げた生徒7人が、市長と意見交換。「市長の仕事内容や給与額、休日の過ごし方」などの質問や、「伝統工芸品をもっとPRしてほしい」「若い人たちがくつろげる施設をつくってほしい」「電車やバスの本数を増やしてほしい」などの要望がありました。

村上高校

7月31日(月)

村上高校の2年生約200人を対象に、同校の大会育館で行いました。

朝とはいえ真夏の体育館ということもあり、蒸し暑い中でしたが「映画館やアパレルショップをつくってほしい」などの要望や「雇用拡大のための市の対策は何がありますか」「これからの課題である介護対策はどのように考えていますか」「海外と姉妹都市を結び取り組みは考えていますか」などの質問がありました。



荒川高校

10月28日(土)

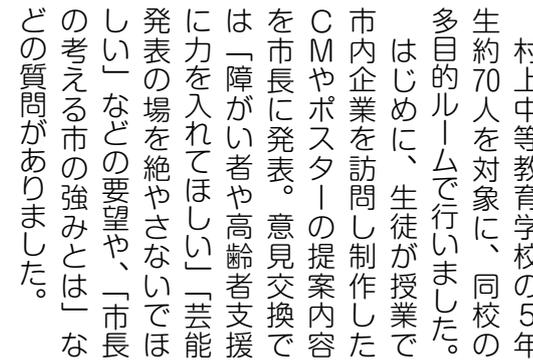


荒川高校の全校生徒約170人を対象に、同校の第2体育館で行いました。

この日は同校の文化祭「申明祭」の開催日。はじめに、生徒が故郷の良さについて調べたPR画像を、市長に発表しました。意見交換では「新幹線を村上まで繋げてほしい」「若い世代が楽しめる施設がほしい」などの要望や、「市長の勤務状況について」などの質問がありました。

村上中等教育学校

11月2日(木)



村上中等教育学校の5年生約70人を対象に、同校の多目的ルームで行いました。

はじめに、生徒が授業で市内企業を訪問し制作したCMやポスターの提案内容を市長に発表。意見交換では「障がい者や高齢者支援に力を入れてほしい」「芸能発表の場を絶やさないでほしい」などの要望や、「市長の考える市の強みとは」などの質問がありました。

キラキラとした眼差し

村上市長 高橋 邦芳



高校生という若い世代が一堂に会する中で、話しをしたり意見を聞いたりすることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

高校生たちのキラキラとした眼差しを目の当たりにして、今後の市政運営にあたるうえで、私のモチベーションアップに繋がります。大変感謝しています。

意見交換をする中で、高校生たちがしっかりと自分の考えを持っていたことに、驚きとともに頼もしさを感じました。私たち大人が気づかない意見や要望、質問などしっかりと受けとめ、私たち行政側が、皆さんを見守り、支えていくことを約束しました。

高校生たちには、生まれ育った地域を愛し、一時的に故郷を離れたとしてもいずれ帰ってきてほしい。そのためにも、帰ってきてやすい、帰りたいと思つ環境づくりを進めていかなければならないと強く感じたいです。